

## 4. インフラの現状

### 4.1 道路

本市が管理している道路の総延長（実延長）は約 543km に達しています。このうち、都市計画決定された幹線道路である「1 級市道」と同じく都市計画決定された補助幹線道路である「2 級市道」が全体の 16.2%（約 88km）を占めています。残りの 83.6%（約 454km）は「その他市道」に位置づけられます。

本市認定路線調書で年度別の供用延長をみると、大半の道路が昭和 59 年度以前に整備されています。その後も道路整備は計画的に進められており、本市が管理する道路の延長は増加しています。

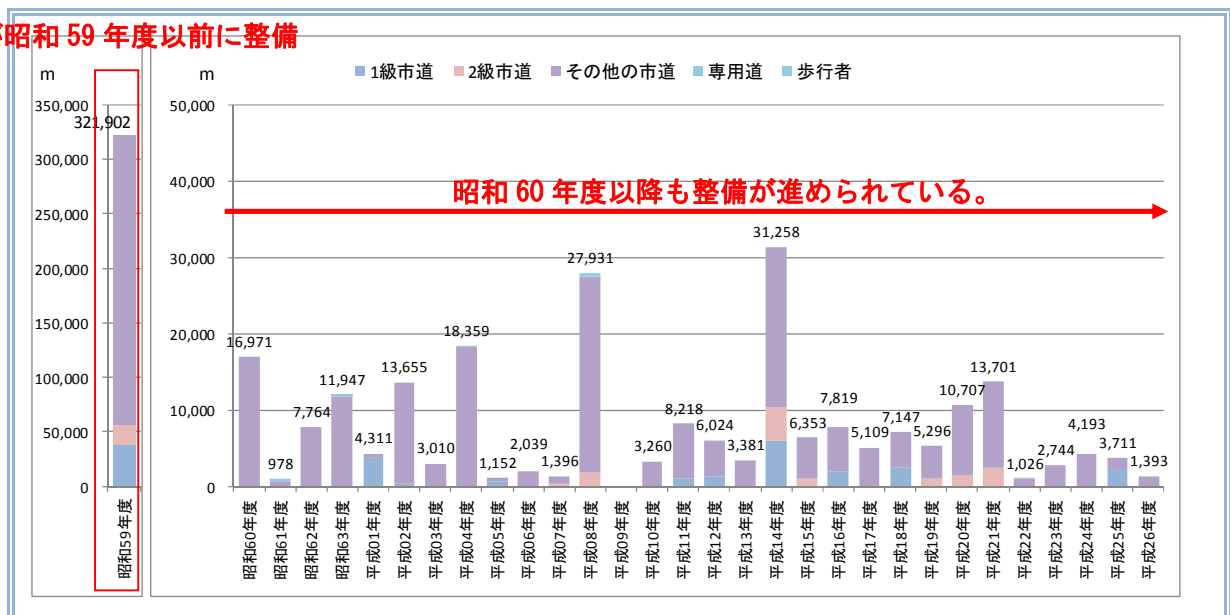
表 4.1.1 道路の施設状況

道路種別	実延長（比率）	面積
1 級市道及び 2 級市道	88,124 m (16.2%)	791,411 m <sup>2</sup>
1 級市道	58,074 m (10.7%)	551,883 m <sup>2</sup>
2 級市道	30,050 m (5.5%)	239,528 m <sup>2</sup>
その他市道	453,855 m (83.6%)	2,657,159 m <sup>2</sup>
専用道※	988 m (0.2%)	4,522 m <sup>2</sup>
歩行者道	28 m (0.0%)	56 m <sup>2</sup>
合計	542,995 m (100.0%)	3,453,147 m <sup>2</sup>

※専用道・・・自転車歩行者専用道

資料：本市道路現況調査

大半が昭和 59 年度以前に整備



※図中の昭和 59 年度はこれ以前に整備された道路を含む

資料：本市認定路線調書

図 4.1.1 本市の供用開始年度別道路実延長

本市は、地震発生後の緊急輸送を確実にかつ円滑におこなうために、緊急輸送道路を指定しています。緊急輸送道路は優先度の高い順に第1次から第3次の3段階で設定しており、最優先で復旧する第1次緊急輸送道路として93km、次いで優先的に復旧する第2次緊急輸送道路として69km、第3次緊急輸送道路として32kmの道路を指定しています。

表 4.1.2 本市の緊急輸送道路指定状況

<第1次緊急輸送道路>

路線名	路線種別	区間(起点)	区間(終点)	延長(km)	車線数	備考
一般国道8号	国道	長浜市西浅井町沓掛	栗東市手原	83.2	2	国管理
一般国道421号	国道	東近江市中小路町	近江八幡市友定町	9.6	2	県管理
合計				92.8		

<第2次緊急輸送道路>

路線名	路線種別	区間(起点)	区間(終点)	延長(km)	車線数	備考
大津守山近江八幡線	主要地方道	近江八幡市長命寺町	近江八幡市大房町	3.0		県管理
近江八幡守山線	主要地方道	近江八幡市鷹飼町	近江八幡市中小森町	1.6		県管理
彦根近江八幡線	主要地方道	彦根市長曾根町	近江八幡市長命寺町	23.2		県管理
近江八幡大津線	一般県道	近江八幡市南津田町	草津市新浜町	30.7		県管理
安土西生来線	一般県道	近江八幡市安土町小中	近江八幡市西生来町	0.9		県管理
大房東横関線	一般県道	近江八幡市大房町	近江八幡市東横関町	5.1		県管理
近江八幡停車場線	一般県道	近江八幡市鷹飼町	近江八幡市桜宮町	0.7		県管理
黒橋八木線	市道	近江八幡市出町	近江八幡市八木町	1.8		市管理
近江八幡駅千僧供線	市道	近江八幡市千僧供町	近江八幡市鷹飼町	1.5		市管理
合計				68.5		

<第3次緊急輸送道路>

路線名	路線種別	区間(起点)	区間(終点)	延長(km)	車線数	備考
一般国道477号	国道	近江八幡市十王町	近江八幡市江頭町	0.4		県管理
大津能登川長浜線	主要地方道	近江八幡市十王町	近江八幡市安土町下豊浦	9.8		県管理
大津守山近江八幡線	主要地方道	近江八幡市友定町	近江八幡市島町	7.9		県管理
近江八幡守山線	主要地方道	近江八幡市大森町	近江八幡市中小森町	0.8		県管理
彦根近江八幡線	主要地方道	近江八幡市長命寺町	近江八幡市長命寺町	0.6		県管理
近江八幡停車場線	一般県道	近江八幡市桜宮町	近江八幡市中村町	0.4		県管理
安土西生来線	一般県道	近江八幡市安土町下豊浦	近江八幡市安土町小中	5.2		県管理
栗見新田安土線	一般県道	近江八幡市安土町大中	近江八幡市安土町下豊浦	4.6		県管理
安土停車場桑実寺本堂線	一般県道	近江八幡市安土町下豊浦	近江八幡市安土町桑実寺	1.4		県管理
中村大房線	市道	近江八幡市中村町	近江八幡市小幡町中	0.5		市管理
黒橋八木線	市道	近江八幡市西庄町	近江八幡市出町	0.8		市管理
合計				32.4		

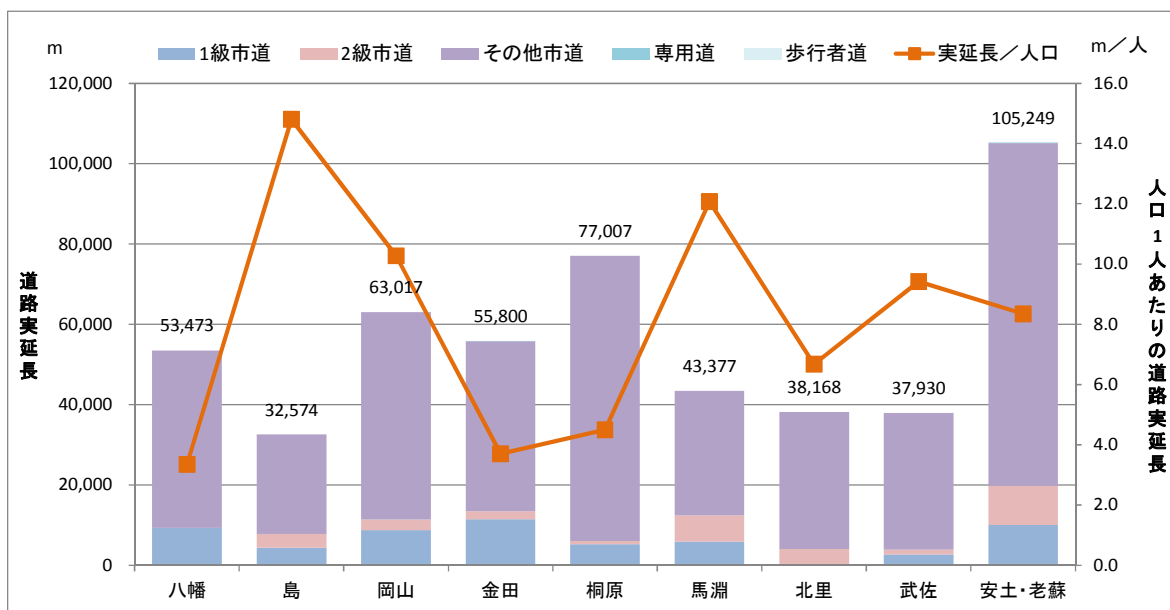
第1次緊急輸送道路：広域的な輸送に必要な幹線道路

第2次緊急輸送道路：第1次緊急輸送道路と地震発生直後において必要とされる主要な防災拠点を連絡する道路

第3次緊急輸送道路：第1次及び第2次緊急輸送道路と防災拠点を相互に連絡する道路

資料：本市資料

学区別では、市街地面積の大きい安土・老蘇、桐原の道路延長が長くなっています。人口一人当たりの道路延長をみると島、馬淵の延長が長くなっています。



資料：本市道路現況調査書

図 4.1.2 学区別道路実延長

表 4.1.3 学区別道路実延長（道路種別別）

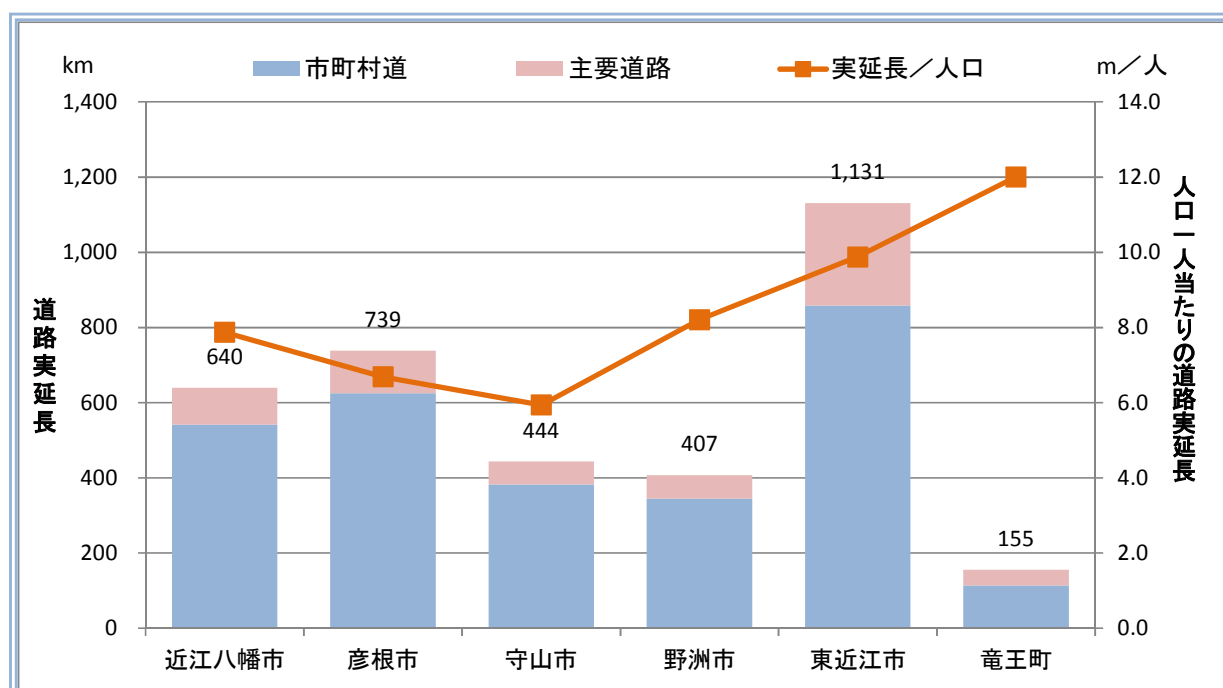
学区	1級市道	2級市道	其他市道	専用道	歩行者道	合計	比率
八幡	9,254 m	0 m	44,220 m	0 m	0 m	53,473 m	9.8%
島	4,346 m	3,422 m	24,806 m	0 m	0 m	32,574 m	6.0%
岡山	8,772 m	2,665 m	51,580 m	0 m	0 m	63,017 m	11.6%
金田	11,501 m	1,928 m	42,314 m	57 m	0 m	55,800 m	10.3%
桐原	5,211 m	810 m	70,986 m	0 m	0 m	77,007 m	14.2%
馬淵	5,857 m	6,524 m	30,996 m	0 m	0 m	43,377 m	8.0%
北里	244 m	3,773 m	34,151 m	0 m	0 m	38,168 m	7.0%
武佐	2,735 m	1,163 m	34,033 m	0 m	0 m	37,930 m	7.0%
安土・老蘇	10,039 m	9,766 m	85,308 m	108 m	28 m	105,249 m	19.4%
(区画整理)	115 m	0 m	35,461 m	824 m	0 m	36,400 m	6.7%
合計	58,074 m	30,050 m	453,855 m	988 m	28 m	542,995 m	100%

資料：本市道路現況調査書

## 参考：他市町との比較

近隣市町と道路延長を比較すると、本市が管理する市町村道（専用道、歩行者道除く）は約 542km で、東近江市（約 859km）、彦根市（約 625km）より短く、守山市（約 383km）、野洲市（約 345km）、竜王町（約 114km）より長くなっています。市街地は道路延長が長くなるため、近隣市町が管理する道路延長は、概ね各市町の市街地面積に比例します。

域内の道路のうち、市町村以外の事業者が管理している道路（主要道路：一般国道、一般都道府県道）の割合は、守山市、野洲市、彦根市とほぼ同じで、市街地面積の割合が小さい竜王町と東近江市は割合が高くなっています。



資料：総務省統計局刊行「統計でみる市区町村のすがた 2015」

図 4.1.3 道路実延長の他都市比較 [2012 年度道路施設現況調査]

表 4.1.4 道路実延長の他都市比較（市町村道・主要道路別） [2012 年度道路施設現況調査]

単位：km

	近江八幡市	彦根市	守山市	野洲市	東近江市	竜王町
市町村道	542	625	383	345	859	114
	84.7%	84.7%	86.2%	84.8%	76.0%	73.3%
主要道路 (一般国道、 一般都道府県道)	98	113	62	62	272	41
	15.3%	15.3%	13.8%	15.2%	24.0%	26.7%
総数	640	739	444	407	1,131	155
	100%	100%	100%	100%	100%	100%

資料：総務省統計局刊行「統計でみる市区町村のすがた 2015」

## 4.2 橋梁

本市が管理する橋梁は 348 橋で、15m 未満の比較的小さな橋梁が 85.1%（296 橋）を占めています。橋梁の種類（橋種）別では、コンクリート橋の橋梁数が多くを占めています。定期的に再塗装が必要となる鋼橋が 7.0%（橋面積比率）あります。

建設年別では、全体の 82.2%（286 橋）の建設年が不明です。建設年が判明している橋梁をみると、昭和 52 年から平成 11 年にかけて相対的に多くの橋梁が架設されています。

表 4.2.1 本市の橋長別橋梁数・延長

分類	橋長 15m 未満	橋長 15m 以上	合計
橋梁数 (比率)	296 橋 (85.1%)	52 橋 (14.9%)	348 橋 (100.0%)
総延長	1,485m	2,110m	3,595m

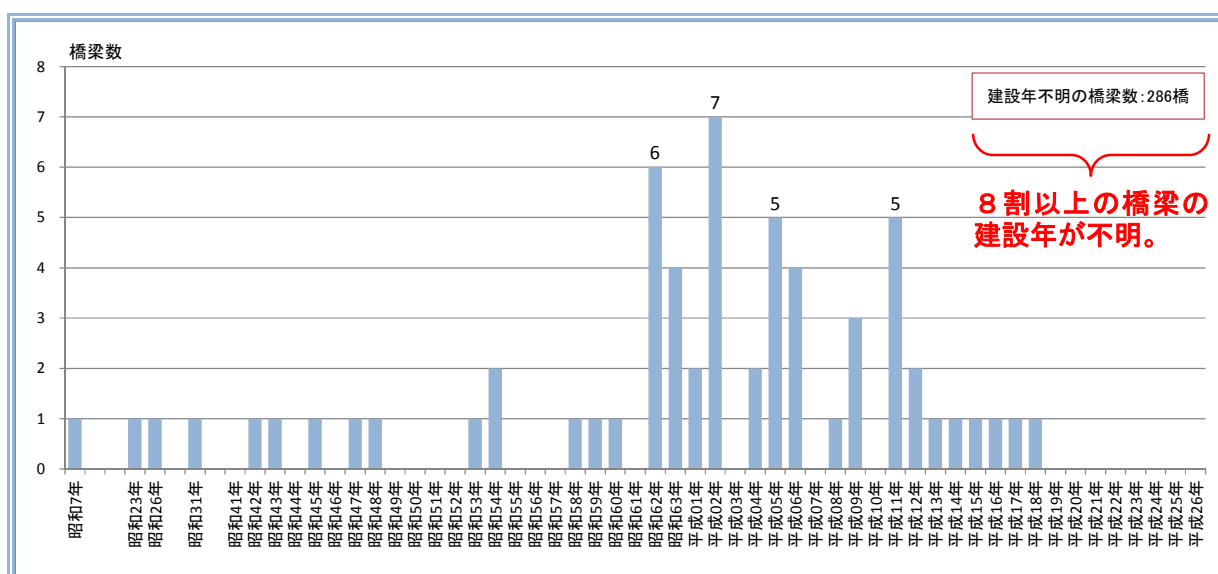
資料：本市橋調書

表 4.2.2 橋種別橋梁数・面積

分類	橋梁数 (比率)		面積 (比率)	
PC 橋	61	(17.5%)	11,696 m <sup>2</sup>	(43.6%)
RC 橋	273	(78.4%)	13,060 m <sup>2</sup>	(48.7%)
鋼橋	11	(3.2%)	1,878 m <sup>2</sup>	(7.0%)
石橋	1	(0.3%)	5 m <sup>2</sup>	(0.02%)
その他	2	(0.6%)	191 m <sup>2</sup>	(0.7%)
合計	348	(100%)	26,829 m <sup>2</sup>	(100%)

※PC 橋・・・プレストレスト・コンクリート橋、RC 橋・・・コンクリート橋

資料：本市橋調書



資料：本市橋調書

図 4.2.1 本市の建設年別橋梁数

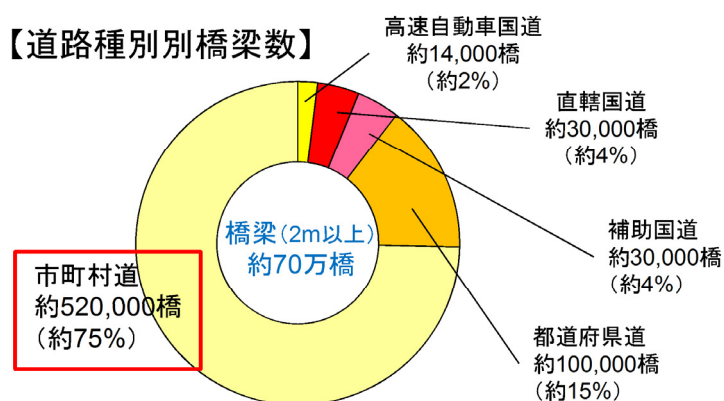
本市の学区別の橋梁延長をみると、道路延長が長い桐原、安土の他、農業用の水路の多い金田、馬淵の橋梁延長が長くなっています。

国土交通省の資料によると、我が国の道路橋（約70万橋）のうち、約75%（約52万橋）が市町村が管理する市町村道に架設されています。市町村全体でみると、国や都道府県とくらべて多くの橋梁を管理していることがわかります。

表 4.2.3 学区別橋梁延長

学区	延長	比率
八幡	263 m	7.3%
島	146 m	4.1%
岡山	392 m	10.9%
金田	610 m	17.0%
桐原	756 m	21.0%
馬淵	509 m	14.1%
北里	183 m	5.1%
武佐	98 m	2.7%
安土・老蘇	440 m	12.2%
(区画整理)	199 m	5.5%
合計	3,595 m	100%

資料：本市道路現況調書



資料：国土交通省資料

参考図 日本全体の道路種別橋梁数

本市では、本市が管理している 348 橋のうち、以下の条件に該当する 59 橋の重要橋梁を対象に「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、橋梁の長寿命化による道路交通の確保に努めています。

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| ①避難経路にある橋梁          | ④交通量の多い路線に位置する橋梁 |
| ②規模などから緊急的な復旧が困難な橋梁 | ⑤造られてからの年数が長い橋梁  |
| ③バス路線に位置する橋梁        | ⑥集落間を結ぶ路線に位置する橋梁 |

表 4.2.4 本市の長寿命化修繕計画の対象橋梁

No.	橋梁名	路線名	交差物件名 (河川名等)	橋梁形式	橋長 (m)	有効幅員 (m)	全幅員 (m)	面積 (㎡)
					L	w	W	W×L
1	ペDESTリアンデッキ立体歩道橋	鷹飼5号線	不明	鋼ラーメン橋	119	4	4	442
2	岡山白鳥橋	大房舟木線	白鳥川	PC床版橋	46	10	11	509
3	下三十一橋	区整南26条線	黒橋川	PC床版橋	15	6	7	108
4	下司橋	区整南34号線	黒橋川	PC床版橋	15	6	7	108
5	釜田橋	千僧供東川線	白鳥川	PCT桁橋	33	7	8	273
6	桐原新橋	若宮安養寺線	日野川	鋼桁橋	278	13	14	3,920
7	近江八幡駅千僧供線1号橋	近江八幡駅千僧供線	不明	カルバート	18	18	19	335
8	金宮大橋	長田御所内線	蛇砂川	PCT桁橋	44	9	11	457
9	金剛寺1号橋	金剛寺門の前線	山本川	不明	17	4	5	85
10	九ノ坪橋	浅小井16号線	長命寺川	鋼桁橋	46	5	6	288
11	景清橋	影清線	山本川	不明	17	4	5	85
12	五反田橋	上豊浦長田線	山本川	不明	17	5	6	105
13	口釜田橋	東川千僧供線	白鳥川	PCT桁橋	34	4	5	171
14	高座橋	中村大房線	白鳥川	PCT桁橋	46	6	7	309
15	黒橋八木線1号橋	黒橋八木線	黒橋川	不明	6	26	27	163
16	若葉1号線1号橋	若葉1号線	黒橋川	PCT桁橋	21	9	10	202
17	寿久橋	多賀円山線	長命寺川	PC床版橋	71	7	8	578
18	小西橋	小西田中江橋線	承水溝	RC床版橋	16	3	3	52
19	昭和橋	中村大房町線	八幡川	不明	12	7	8	97
20	焼田橋	円山西庄線	用水路	RC床版橋	20	7	8	160
21	上罐尾橋	黒橋八木線	不明	不明	10	21	21	206
22	上田出町線2号橋	上田出町線	不明	不明	2	5	6	11
23	上田出町線3号橋	上田出町線	不明	不明	3	5	6	17
24	織田橋	織田1号線	山本川	不明	34	9	9	302
25	西沢橋	西沢御堂尻線	山本川	不明	33	4	5	166
26	雪野山大橋	竜王近江八幡八日市線	日野川	鋼桁橋	56	11	12	665
27	前後橋	中屋長田線	山本川	不明	17	4	5	90
28	多賀円山線1号橋	多賀円山線	不明	不明	8	7	8	62
29	大須田橋	下豊浦大中線	不明	不明	16	7	7	117
30	大畑橋	野村中主線	日野川	PCT桁橋	118	5	6	735
31	中川橋	舟木20号線	八幡川	PC床版橋	17	8	9	158
32	長田景清大橋	金田長田線	蛇砂川	PCT桁橋	33	7	8	273
33	田中江橋	田中江元水荃線	承水溝	RCT桁橋	16	5	5	79
34	土田大橋	黒橋八木線	白鳥川	PCT桁橋	50	22	23	1,142
35	藤間川橋	病院西門線	藤間川	PC床版橋	16	9	10	157
36	寅目橋	西本郷音羽線	黒橋川	PC床版橋	19	13	14	262
37	南津田新川橋	舟木23号線	八幡川	PC床版橋	17	7	8	141
38	日吉野橋	中小森鷹飼線	白鳥川	PC床版橋	44	8	9	398
39	日野川高架橋	若宮安養寺線	日野川	PC床版橋	80	13	14	1,104
40	日野川高架橋	竜王近江八幡八日市線	不明	PCT桁橋	105	10	11	1,179
41	馬淵橋	若宮上田線	白鳥川	PC床版橋	39	9	10	382
42	馬淵日吉野東線1号橋	馬淵日吉野東線	白鳥川	PCT桁橋	42	4	5	219
43	白雲橋	白雲宮内線	八幡川	不明	9	6	6	53
44	白鳥川12号橋	白鳥日吉野線	白鳥川	H型鋼橋	42	4	4	179
45	白鳥川7号橋	大房小舟木線	白鳥川	H型鋼橋	40	4	4	176
46	白椿橋	多賀円山線	黒橋川	PCT桁橋	15	7	8	126
47	八袋1号橋	八袋線	山本川	不明	19	9	11	196
48	八幡川3号橋	舟木7号線	八幡掘川	H型鋼橋	17	4	4	70
49	八木大橋	黒橋八木線	藤間川	PC床版橋	15	21	21	329
50	弁天大橋	永町中央線	不明	不明	18	5	5	91
51	北浦橋	千僧供馬淵線	白鳥川	PCT桁橋	35	6	7	252
52	北津田大橋	北津田プラント線	長命寺川	PCT桁橋	65	4	5	336
53	堀切橋	堀切線	諸子川	PCT桁橋	22	7	7	141
54	本町橋	中村大房町線	八幡川	不明	11	8	9	97
55	木ノ下橋	岩倉新在家線	白鳥川	PCT桁橋	28	4	5	140
56	落合橋	岩倉11号線	御沢川	PC床版橋	15	9	10	147
57	竜王近江八幡八日市線1号橋	竜王近江八幡八日市線	不明	PC床版橋	54	11	12	638
58	竜王近江八幡八日市線2号橋	竜王近江八幡八日市線	倉橋部新巻線	カルバート	22	13	13	277
59	石川橋	区整南23条線	黒橋川	PCT桁橋	15	7	8	125
合計					2,106			19,681

## 4.3 上水道

### 4.3.1 水道事業の概要

本市の水道は、昭和 29 年 3 月に滋賀県で 2 番目に近江八幡上水道事業として創設され、長命寺町松ヶ崎地先の琵琶湖から、八幡山の麓にありました北之庄浄水場まで琵琶湖の水を引き込み、旧市内に給水が開始されました。

その後、昭和 40 年には広域簡易水道（第 2 上水）として、牧水泳場近くに牧浄水場を建設し、岡山・桐原・北里学区を中心に給水を開始しました。次いで昭和 47 年には岩倉浄水場を増設、馬淵・武佐学区を給水区域とし、昭和 50 年には県水の受水が始まり金田・島・武佐学区に給水を開始しました。

一方、安土上水道事業は、昭和 54 年から町内全域を給水区域として給水を開始しました。

平成 22 年 3 月、旧近江八幡市と旧安土町が合併したことにより、近江八幡水道事業・安土水道事業・沖島町簡易水道事業の三事業として水道事業を行うこととなりましたが、平成 25 年 4 月には「近江八幡市水道事業」として一つの水道事業に統合し現在に至っています。

### 4.3.2 上水道の現状

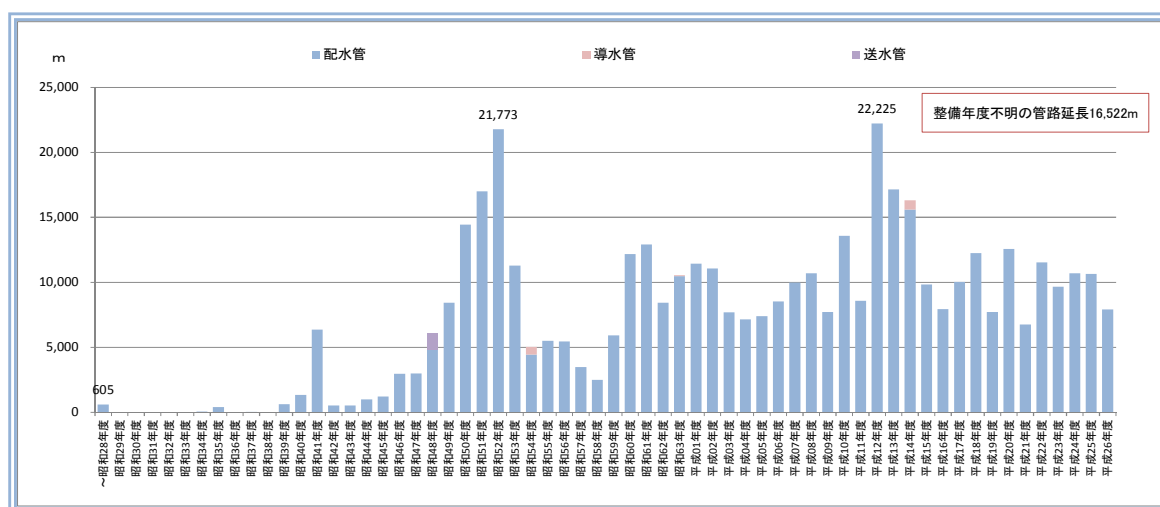
#### (1) 管路

本市の上水道の管路延長は約 548 km です。整備年度別の管路延長をみると、昭和 28 年度以前の古い管路が約 0.6km あります。整備年度のピークは昭和 52 年度と平成 12 年度で約 22km が整備されました。また、本市には上水道台帳の記録上、整備年度が不明の上水道管が約 17km あります。これらの整備年度不明の管路については、整備の必要性から更新費用が前倒しで必要になる可能性があります。

表 4.3.1 本市の上水道管路延長

管路	延長 (m)
配水管	545,386
導水管	1,424
送水管	1,288
計	548,098

資料：平成 26 年度水道統計調査



資料：平成 26 年度水道統計調査

図 4.3.1 本市の整備年度別上水道管路延長

## (2) 水道施設

市内には、牧浄水場・岩倉浄水場・南部水源地と沖島浄水場があります。

牧浄水場と沖島浄水場は琵琶湖を水源とし、岩倉浄水場と南部水源地は地下水を水源としています。その他、湖南水道用水供給事業より浄水を受水し、市内のほぼ全域に水道水を供給しています。

牧浄水場は平成 24 年 3 月に改修工事を完了し、岡山・北里学区と桐原学区の一部に加圧配水しています。岩倉浄水場は長福寺配水池を経由して自然流下で馬淵・武佐学区と金田・桐原学区の一部に配水しています。南部水源地は老蘇学区に加圧配水しています。沖島浄水場は沖島配水池を経由して自然流下で沖島町に配水しています。その他、湖南水道用水供給事業より受水し、長福寺配水池・円山配水池及び上出配水池を経由して自然流下で配水しています。

表 4.3.2 本市の浄水場・水源地の概要

施設名称	給水開始	水道水源	浄水方式	配水能力
牧浄水場	昭和 40 年 10 月	湖水	急速ろ過	7,150 m <sup>3</sup> /日
岩倉浄水場	昭和 48 年 5 月	地下水（浅井戸）	エアレーション・消毒	11,450 m <sup>3</sup> /日
南部水源地	昭和 54 年	地下水（浅井戸）	エアレーション・消毒	920 m <sup>3</sup> /日
沖島浄水場	昭和 36 年 3 月	湖水	急速ろ過	304 m <sup>3</sup> /日

資料：近江八幡市水道ビジョン

表 4.3.3 本市の配水池の概要

名称	容量	水源	配水区域
牧	2,400 m <sup>3</sup>	牧浄水場	北里、岡山、桐原学区
長福寺	5,046 m <sup>3</sup>	岩倉浄水場、県水	武佐、馬淵、桐原、金田学区
円山	6,000 m <sup>3</sup>	県水	島、八幡、金田学区
上出	2,000 m <sup>3</sup>	南部水源地、県水	安土区域
沖島	209 m <sup>3</sup>	沖島浄水場	沖島町

資料：近江八幡市水道ビジョン



資料：近江八幡市水道ビジョン

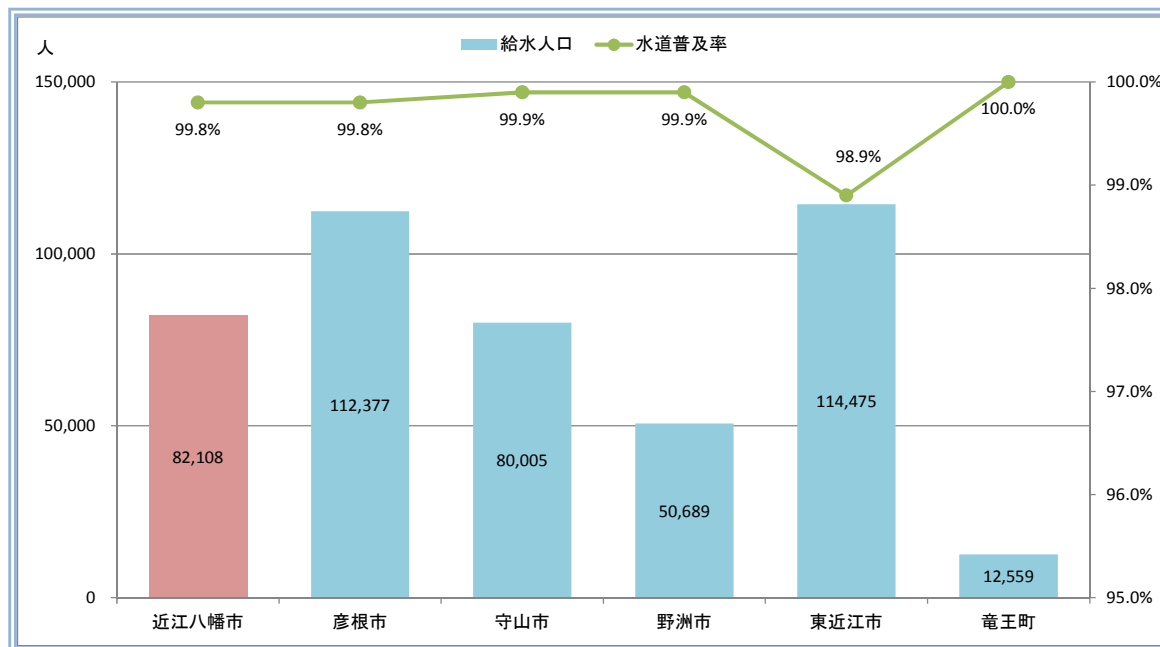
図 4.3.2 本市の水道施設位置図

### 参考：他市町との比較

滋賀県下の他市町と給水人口・水道普及率を比較した結果を下表に示します。

本市の水道普及率は 99.8%となっておりまして、県平均の 99.4%及び全国平均の 97.7%を上回っています。

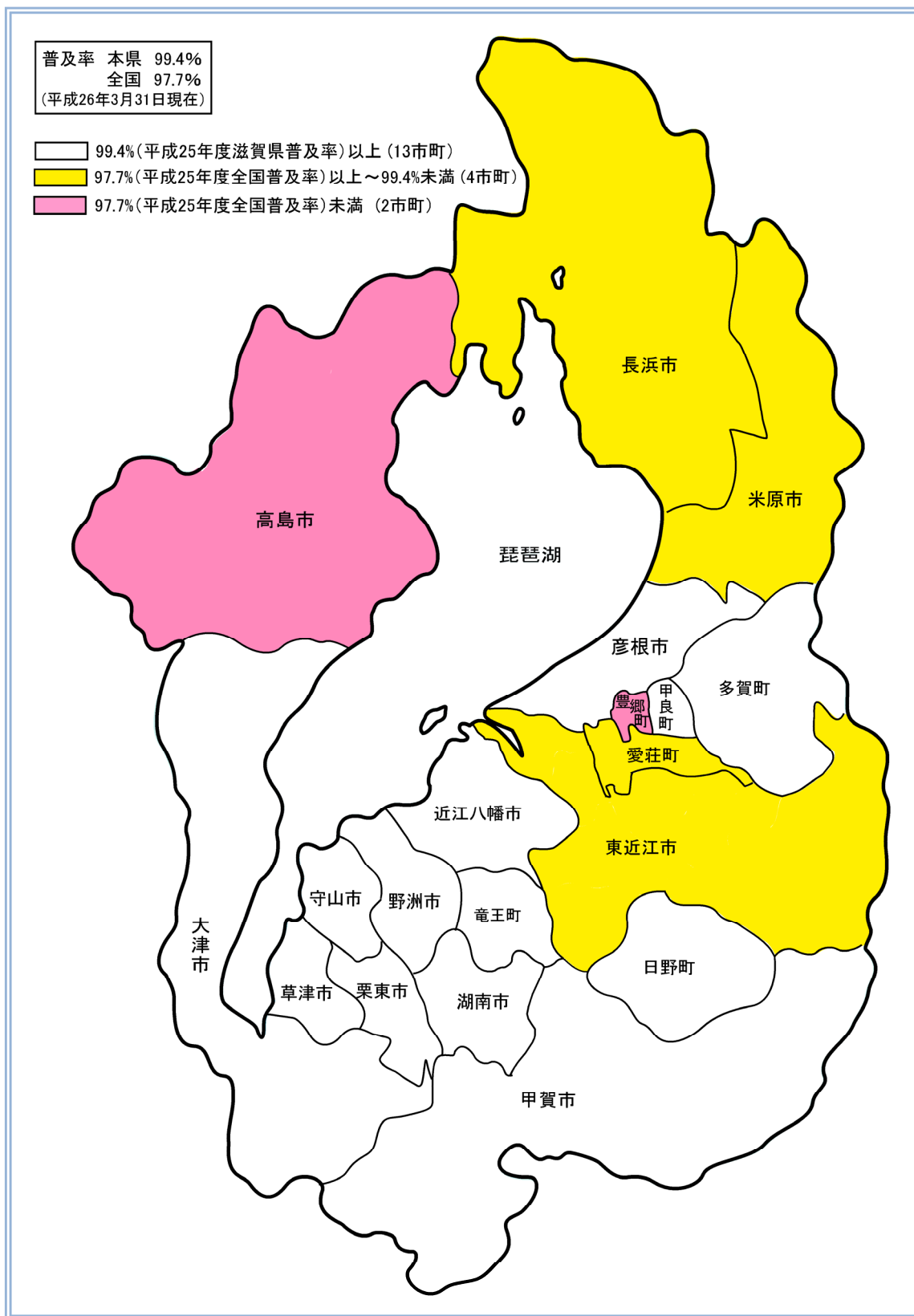
普及率が高いことから、本市の給水人口は市の人口とほぼ同程度となっている状況です。



※給水人口・水道普及率は上水道・簡易水道（本市には存在しない）・専用水道を合計した値

資料：平成 25 年度 滋賀県の水道事業

図 4.3.3 滋賀県下の他市町との給水人口・水道普及率の比較



※水道普及率は上水道・簡易水道（本市には存在しない）・専用水道を合計した値

資料：平成25年度 滋賀県の水道事業

図 4.3.4 滋賀県市町別水道普及状況

## 4.4 下水道

### 4.4.1 整備の状況

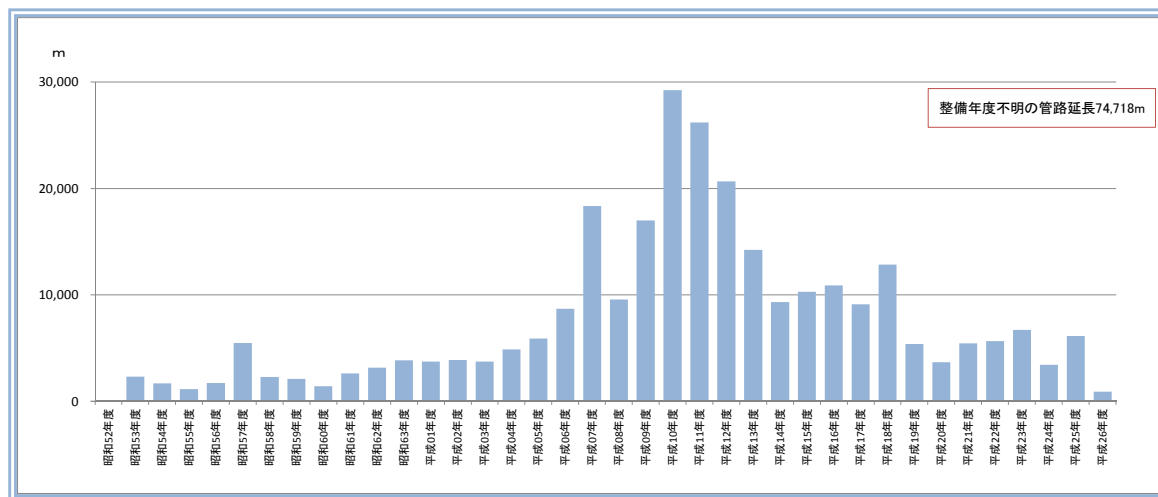
近江八幡市の公共下水道事業は、昭和49年3月に基本計画を策定の上、同年11月に都市計画法に基づく計画決定を行いました。昭和50年1月に事業認可を受け船木汚水幹線工事に着手、昭和55年から面整備に取り組み、昭和61年4月に供用を開始しました。その後、逐次事業認可区域を拡大するとともに、流域関連公共下水道、流域関連特定環境保全公共下水道として取り組み、平成22年3月現在の事業認可面積は1,676.24haとなっています。現在は、社会資本総合整備計画に基づく「近江八幡市における下水道未普及地域の解消（平成23年度～平成27年度）」を実施しており、平成26年度末における整備済み面積は1,451.4ha（整備率86.6%）、普及率は74.6%、水洗化率は87.0%となっています。

また、沖島町においては、8.7haを特定環境保全公共下水道として昭和53年に事業認可を受け事業着手、昭和57年7月に供用を開始し、全戸水洗化され現在に至っています。

### 4.4.2 施設の状況

#### (1) 管路施設

本市の下水道の管路延長は約359kmです。平成10年度頃が整備のピークとなっていますが、整備年度の不明な管路が約75km（全体の約20.8%）あります。なお、耐用年数に達している管路はありません。



資料：下水道台帳管渠データ

図 4.4.1 本市の整備年度別下水道管路延長

## (2) 処理施設

沖島町を除く近江八幡市の公共下水道は、流域関連公共下水道として滋賀県湖南中部浄化センターで処理されており、県内9市2町が供用しています。沖島町では特定環境保全公共下水道沖島浄化センターとして市単独処理施設を管理しています（表4.4.1参照）。築後33年が経過しており、一部施設では平成4年度に大規模改修が行われています。建築基準法に基づく耐震対策は問題ありませんが、大災害などの緊急事態の場合において、市民生活への影響被害をいかに少なくするかの対策（BCP：業務継続計画）が必要です。

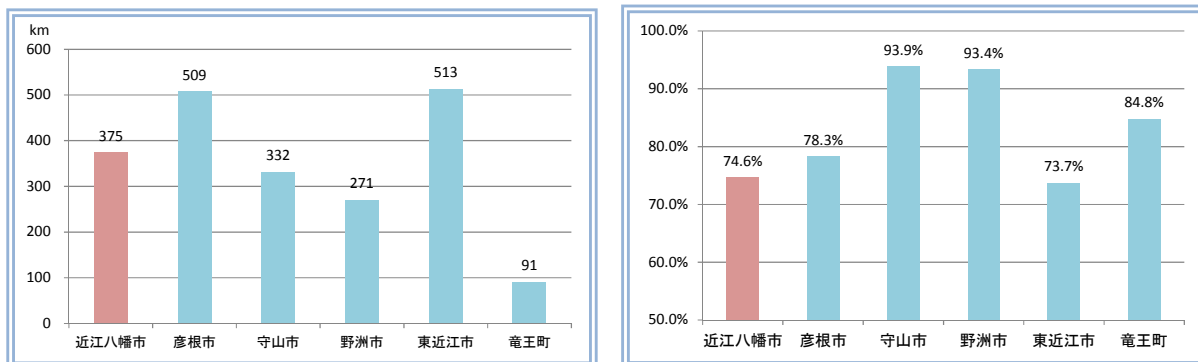
表 4.4.1 施設一覧（沖島浄化センター）

施設名	棟名	構造	大規模改修年度	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震補強	建築年度	築年数 (年)
沖島浄化センター	管理棟	鉄筋コンクリート		117.03	不要	不要	S57	33
	物置	鉄骨		3.75	不要	不要	S57	33
	物置	鉄骨		12.50	不要	不要	S57	33
	自転車置場	鉄骨		6.00	不要	不要	S57	33
	ディッチ槽	鉄筋コンクリート	H4	298.20	不要	不要	S57	33
	汚泥乾燥床	鉄骨	H4	68.71	不要	不要	S57	33
	ブロー棟	コンクリートブロック	H4	11.00	不要	不要	S57	33
	砂ろ過薬注棟	鉄骨	H4	60.50	不要	不要	S57	33
沖島第1中継ポンプ場	第1中継ポンプ場	鉄筋コンクリート		20.00	不要	不要	S57	33
沖島第2中継ポンプ場	第2中継ポンプ場	鉄筋コンクリート		15.60	不要	不要	S57	33

資料：本市下水道課資料

### 参考：他市町との比較

下水道管路総延長と普及率を他市町と比較すると、管路総延長が比較的短い守山市、野洲市、竜王町は、普及率が近江八幡市と他2市に比べて高くなっています。各市町は、面積や地理的条件、建物・人口分布などから総合的に判断して、各地域の汚水処理方法を政策的に選択しており、公共下水道での整備はその選択肢のひとつです。下水道整備は建設投資額が高額なことから、建物・人口が密集しているコンパクトな地区ほど普及効果が表れやすい傾向があります。



資料：平成25年度版下水道統計—(公)日本下水道協会

図 4.4.2 近隣他市町との比較（左図：管路総延長、右図：普及率）

## 4.5 農業集落排水

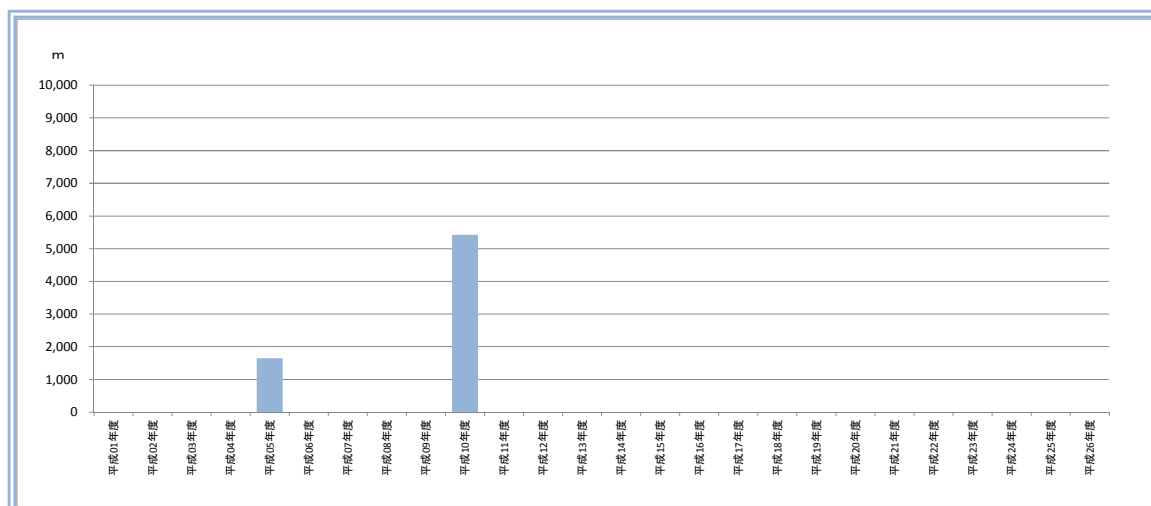
### 4.5.1 整備の状況

農業集落排水事業（農村下水道）は、市街化調整区域の農村集落を対象に行うものであり、2地区で実施しています。大中西部地区では、平成2年度に事業採択を受けて管渠築造工事及び汚水処理場の整備事業を実施し、平成5年11月より供用を開始しています。また、佐波江地区についても平成7年度に事業採択を受け、大中西部地区と同様の事業を実施し、平成11年4月に供用を開始しました。平成26年度末の整備率は100%、処理区域内の水洗化人口比率は96.1%となっています。

### 4.5.2 施設の状況

#### (1) 管路施設

図4.5.1は管路の整備状況を表したグラフで、供用開始に合わせて整備され2地区合計で約7kmあります。最も古い管路で布設後22年であり、喫緊に耐用年数に達する管路はありません。



資料：下水道台帳管渠データ

図 4.5.1 本市の農業集落排水事業の整備年度別管路延長

#### (2) 処理施設

2地区の処理施設は、管理棟と処理施設を有していますが、築後17年及び22年と比較的新しい施設のため大規模改修等は実施されていません。建築基準法に基づく耐震対策は不要ですが、大災害などの緊急事態における対応策（BCP）の検討が必要です。

表 4.5.1 農業集落排水施設一覧

施設名	棟名	構造	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震診断	耐震補強	建築年度	築年数(年)
大中西部地区 農業集落排水処理施設	管理棟	鉄筋コンクリート	75.01	不要	不要	H5	22
	処理施設	鉄筋コンクリート	164.76	不要	不要	H5	22
佐波江地区 農業集落排水処理施設	管理棟	鉄筋コンクリート	158.71	不要	不要	H10	17
	処理施設	鉄筋コンクリート	161.56	不要	不要	H10	17

資料：本市下水道課資料